

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回瀬戸警察署協議会（定例会）																													
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年12月7日(木) 午後3時00分から午後4時30分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>瀬戸警察署 講堂</p>																													
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">鈴木紹陶武</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">伊藤雄一郎</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>村松ゆかり</td> <td>委員</td> <td>熊谷 由美</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>杉本 重治</td> <td>委員</td> <td>鍋嶋 洋行</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>藤田 豊秋</td> <td>委員</td> <td>廣井 健吉</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>山内 敏也</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名（定数10名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">青山署長</td> <td style="width: 33%;">加藤副署長</td> <td style="width: 33%;">神谷警務課長</td> </tr> <tr> <td>伊藤会計課長</td> <td>浅野生活安全課長</td> <td>北村地域課長</td> </tr> <tr> <td>長江刑事課長</td> <td>向井交通課長</td> <td>高宗警備課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>	鈴木紹陶武	会長	伊藤雄一郎	副会長	村松ゆかり	委員	熊谷 由美	委員	杉本 重治	委員	鍋嶋 洋行	委員	藤田 豊秋	委員	廣井 健吉	委員	山内 敏也	委員			青山署長	加藤副署長	神谷警務課長	伊藤会計課長	浅野生活安全課長	北村地域課長	長江刑事課長	向井交通課長	高宗警備課長
鈴木紹陶武	会長	伊藤雄一郎	副会長																											
村松ゆかり	委員	熊谷 由美	委員																											
杉本 重治	委員	鍋嶋 洋行	委員																											
藤田 豊秋	委員	廣井 健吉	委員																											
山内 敏也	委員																													
青山署長	加藤副署長	神谷警務課長																												
伊藤会計課長	浅野生活安全課長	北村地域課長																												
長江刑事課長	向井交通課長	高宗警備課長																												
諮 問 事 項 等	特殊詐欺被害防止対策について																													
答 申 等 の 概 要	<p>1 高齢者に限らず、全瀬戸市民を対象とした、特殊詐欺の実情や実例を挙げた広報の実施と、効果的な防犯対策を啓発する広報活動の推進。</p> <p>2 金融機関やコンビニエンスストアなど、各種企業との情報の共有と連携を強化するとともに、防犯意識の高揚を図る等、特殊詐欺の水際対策の強化の推進。</p>																													
そ の 他	1 次回開催予定 令和6年2月中旬から2月下旬																													

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況等（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況等（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	瀬戸警察署の災害警備対策について望むこと
	(2) 答申事項
	ア 市役所や自治会と連携した、危険箇所や避難ルートの市民への的確な
	伝達と、高齢者や子供の多いエリアへの防災訓練等の啓発活動や必要な
	装備資機材の整備の推進
	イ 災害時、被災者等の心理的サポートや避難場所の治安維持のため、警
	友会などの警察関係者の配置を検討するための関係機関との協議の推進
	(3) 具体的施策の推進状況（警備課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 啓発活動の取組として、交番や駐在所が発行しているミニ広報誌で、
	災害危険箇所を周知する予定である。あわせて、避難所の確認を推奨
	するなどして、防災意識の向上に努める。
	(イ) 風水害対策の一つとしてゴムボート（6人乗り）の購入を予定して
	いる。
	イ 答申事項イについて
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ア) 瀬戸警友会員の避難所等への配置について瀬戸市と協議を実施した。	
引き続き警友会員の配置に向け協議を進めていく。	
あわせて、ボランティア活動の一つとして警友会員への協力要請の	
可否可能な場合の活動内容等（避難所における防犯指導、自主防災組	
織等に対する防犯パトロールの助言指導など）を検討している。	
(イ) 当署としては、大規模災害時には、移動交番の設置やパトロール隊	
の編成などにより、避難所への支援を積極的に実施する予定である。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
特殊詐欺被害防止対策について	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
令和5年10月末現在における当署管内の特殊詐欺被害は18件（前年同期	
比プラス9件）と、昨年と比較し2倍の被害状況となっている。	
特殊詐欺は、巧妙化しかつ被害金額も高額化しており、年未年始に被害	
が増加することが懸念される。	
そのため、これまで以上に市民の防犯意識を高め、効果的な防犯対策を	
浸透させるとともに、A T Mや金融機関などでの水際対策を推進させ、被	
害を予防することが急務である。	
協議会委員の皆さまから、特殊詐欺被害を防止するための効果的な取組	
に関して御意見を頂き、今後の活動に生かしていきたい。	
6 協議	
委員 ・ まずは電話を留守番電話にするなど、電話に出ない設定が重要だ	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
<p>と思う。当連区ではだまされないための啓発用語を募集し、その言葉を各家庭の電話の前に置くことにより詐欺かもしれないとの意識を持ってもらう取組を行っている。警察には、毎月注意喚起をしていただきたい。</p>			
委員	・ 詐欺に対する防犯チラシをもっと配布するのが効果的である。		
委員	・ 瀬戸市は高齢者が多いことから、集会等での広報や、電話がかかってきた際の対処方法などを、具体的事例を挙げながらロールプレイング方式を活用して行えば、効果も上がるのではないかと。		
委員	・ 特殊詐欺被害防止活動を、もっと広報すべきだと思う。犯罪者の特徴等を周知することが必要である。		
委員	・ 高齢者は特に電話の相手を疑わない傾向があると思うので、留守番電話にするよう周知を徹底することが必要である。		
委員	・ 市役所に不審な電話があったとの相談が寄せられた場合は、最低限の項目のみを聴取した後、警察に通報することにした。タイムリーな情報を警察が把握することにより、検挙や被害防止につながればよいと思う。		
委員	・ 「この通話は録音されます。」というメッセージが流れる迷惑電話防止機能付きの電話機が販売されている。補助金制度について知らない方も多いため、併せて市民に周知すれば、購入を検討する方も増え、被害防止につながるのではないかと。		
委員	・ 高齢者施設を運営しているが、高齢者を対象とする特殊詐欺には憤りを感じる。被害を防止するためには、当事者はもちろんのこと、		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
周りの人にも、被害防止について学ぶ必要があると思う。	
委員	・ 高齢者の被害防止には、家族の役割が大変大きい。
委員	・ もしも犯人から電話があった場合は、その場で判断せずに、家族や警察に相談するように地道に話していくことが大切。
委員	・ 高齢女性の詐欺被害が多いとのことであるが、被害者は男性が多いかとの印象であった。被害に遭っても男性は、恥ずかしくて申告できない場合もあるのではないかと思う。そう考えると、潜在的な被害はまだまだあるのではないか。
委員	・ 高齢者世帯に直接訪問して注意喚起していただくと、効果があるのではないか。
委員	・ コンビニエンスストアで「詐欺注意」のチラシを挟んで注意喚起するのはどうでしょうか。
委員	・ A T M付近で携帯電話の通話をしている高齢者を見かけたら、すぐに声掛けをするなど、地域の協力が必要である。
委員	・ 地域と家族の情報共有を深めることが大切。そのためにはやはり、官民が連携し、最新の情報を継続的に伝えることが必要だと思う。 また、学校でも地域の情報を子供に伝えることで、子供から家族に情報が伝わり、また、孫の言うことならと、高齢者も耳を傾け、結果的に意識の向上につながるのではないか。
委員	・ 闇バイトなど、学校で特殊詐欺に関する教育を強化するのも効果的ではないかと思う。
委員	・ パトネットあいちを登録していると、毎日のように情報が送られ
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
てくる。その内容を家族と共有することが大切だと思う。	
7 答申	
(1) 高齢者に限らず、全瀬戸市民を対象とした、特殊詐欺の実情や実例を挙げた広報の実施と、効果的な防犯対策を啓発する広報活動の推進。	
(2) 金融機関やコンビニエンスストアなど、各種企業との情報の共有と連携を強化するとともに、防犯意識の高揚を図る等、特殊詐欺の水際対策の強化の推進。	
8 その他	
次回の開催予定は、令和6年2月中旬から2月下旬とする。	
	記録者 警務係長